

広島県救急搬送支援システム構築業務
公募型プロポーザル選定委員会（第２回） 議事要旨

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 6 月 30 日
2	場 所	広島県医師会館 2 階 201 会議室
3	出席委員	広島県健康福祉局健康危機管理課長 広島県危機管理監消防保安課長 広島県総務局 D X 審議官情報戦略担当部長 広島大学病院危機医療センター特任助教 広島市消防局警防部救急担当部長
4	議 題	広島県救急搬送支援システム構築業務公募型プロポーザルに係るプレゼンテーション審査
5	担当部署	広島県健康福祉局健康危機管理課
6	開催方法	参集
7	議事内容	1 審査結果 提出された企画提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、選定委員会において審査の上、最も高い評価値を得た A 社（TXP Medical 株式会社）を最優秀提案者として決定した。 2 提案者 A 社：TXP Medical 株式会社 B 社：株式会社アックス 3 各提案者の評価値 「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり 4 提案者ごとの主な評価・選定理由 【A 社：TXP Medical 株式会社】 ・本県や県内の消防・医療機関に加え、他県の行政・消防・医療機関に必要なヒアリングや十分な検証等を実施している。 ・実績に基づいた説明でわかりやすく、熱意が感じられる。 ・システムの機能が詳細まで説明されていてわかりやすく、課題に対する

		対応も明確である。 ・デモ機を使用し、ユーザーインターフェースやOCR機能の内容についてわかりやすい説明である。 ・現在の実証実験から更に一步、目的意識を持って事業を前進させていこうという意図が伝わる。 ・定性的な評価だけでなく、定量的にも有効とされる結果が出るよう取り組んでいただきたい。 ・事業委託後の対応体制の柔軟さについて十分な説明がなされている。 ・説明内容が具体的であり、要求する仕様の水準を上回るものとする。 ・実現可能性についても、概要の記載のみでなく具体的方策、体制詳細の提示や、先行事例の記載もあり、安心して事業を任せることが可能であるとする。 【B社：株式会社アックス】 ・概要としては提案できているが、具体的な対応や方法は示されていない。 ・入力支援機能の精度の正確性が不明確である。 ・OSやミドルウェアのバージョンアップに関する記載がなく、質疑に対する回答でも、明確な根拠が感じられない。 ・今回のシステム構築において従前との違い、仕様書を踏まえてどのようにシステム展開されるのかが不明確である。 ・提案書については全般的に踏み込みが甘いように感じる。 ・システムのカスタマイズに関しては柔軟性があると感じるが、提案書の記述が曖昧な部分が多く説明も不足気味である。 ・説明内容が曖昧または抽象的な項目が散見され、要求水準を下回るものとする。 ・提案書が概念的で評価が難しい。プレゼンテーションとしても、提案書を補完する内容には乏しく、記載のないものも散見された。自社のこれまでの製品内容の紹介に従事している印象で、国が示す要件に対する提案も具体性が乏しく、また民間救急システムに関しては、広島県の実情に添いきれていないと感じる。
--	--	--